

千葉演習林 ボランティア会

Abies 通信 (No.4)

2005.10.20

もくじ

1. 9 月度 ボランティア活動の報告：一般公開コースの自然観察と郷台宿舎宿泊研修
2. 10 月度（第 1 回）活動の報告：“緑の教室”の実習場整備
3. 11 月度（第 1 回）研修および活動のご案内
4. 11 月度（第 2 回）秋の一般公開サポートのご案内

9 月度 ボランティア活動報告

～ 一般公開コースの自然観察・郷台宿舎宿泊研修 ～

ボランティア 田生 健一

9月のボランティア会の活動は、9月18日から19日の2日間にかけておこなわれました。今回の活動は猪ノ川林道を歩いて郷台作業所に宿泊、次の日は少し戻って柚ノ木歩道の急坂を登り、地蔵峠を經由して三石歩道を三石山観音寺まで歩くという設定です。この道は春と秋に行われる東大演習林一般公開のコースで、11月の秋の公開を前にコースを巡り、下見を兼ねての研修が主な目的です。

今回の活動は10月18日の午後1時に亀山湖畔の草川原駐車場に集まることから始まりました。私は今年度からのボランティア登録・参加で、郷台作業所での宿泊や三石歩道を歩くのは、初めてなので楽しみにしていました。幸い良い天気で残暑というような日でしたが、京葉道路の千葉市内での渋滞の影響で集合時刻ぎりぎりの現地到着となりました。

今回の参加者は千葉演習林の村川・根上・福岡さんを含めて15名、近藤さんは御夫婦と娘さんが参加、恵さんも娘さんを連れてのにぎやかなメンバーとなりました。

参加者の自己紹介・今回の資料配付後、草川原駐車場から亀山湖の湖畔を通り、16時ま



ゆっくり時間をかけて自然観察

で3時間かけて宿舎の郷台作業所到着を目標に、林道をゆっくり時間をかけて自然観察しながら歩きました。途中、黒滝の手前のがけの崩れた所の工事も完全に終わっていて安心して通れます。

郷台作業所まで加勢林道入口、黒滝ゲートを通り、猪ノ川林道を進む中、ヤマユガの死骸、サワガニ、アオバセセリ（その場では未確認）の幼虫等を見つけて、写真を撮ったり、川の中に鹿の角をみつけたり、マタビの虫こぶを観察したりしながら楽しく歩きました。

今夜は十五夜で郷台作業所での夕食はお月見をしながらのバーベキューとなるため、準備担当の西山さんと近藤さんのご主人は、食材器材や寝袋などの荷物を乗せた演習林の車で、福岡さんに運転してもらい、先行して郷台作業所に向かいます。

ほぼ予定時間通り郷台作業所に到着すると、なんとすでに先行された三名が手際よく、バーベキューの器材や食材の準備を終えていました。各自、荷物を置きしばらく休憩した後、お月見のお供えや夜間照明も準備しました。



名シェフが腕をふるった焼きそば

久々に森林浴しながらの林道歩行のお陰で正直に言ってお腹はペコペコでしたが、それにも増して西山・近藤両シェフの息の合った調理は秀逸で、思わず食べすぎてしまいました。

お腹も落ち着き、いよいよ今晚の主演「中秋の名月」の登場を皆で待ちました。郷台作業所はまわりが比較的に大きな木で囲まれているので、なんとなく月明かりで明るいのに肝心のお月様が顔を出すのはかなり遅くとなりました。私自身、おそらくこんなに夜空を熱心に眺めたのは高校時代の天体観測以来（30年振り）でしょう。

東の空の雲が厚く心配するなか眺めていると、ありがたいことに時々雲の切れ間にまん丸の月が顔を覗かせてくれました。皆さんと共に感謝・感激のあまり思わず拍手している自分がいました。

今回泊まった歴史ある郷台宿舎は最近畳替えもされ、ソーラー発電機も設置されており、とても居心地が良くなっていて、夏場であれば十分に宿泊出来ると感じました。

翌19日の朝食は西山さんが準備してくれた館山市の美味しいパンをいただいた後、郷台作業所の苗畑や周囲のセンペルセコイア、ヨレスギ、テータマツ、ユリノキ、バリバリノキ、コウヨウザンなどの珍しい樹木、モウソウチクの開花寿命試験地、そして相ノ沢スギ栽培品種展示林などを観察しました。私はバリバリノキ、ユリノキの名前の由来やスギの樹齢が進んで老齢になると樹木の



ようやく顔を出した中秋の名月とススキ

頂上が丸くなること等を学びました。

朝の片付けをした後、郷台作業場を9時25分に出発、猪ノ川林道を黒滝側へ戻って約15分、柚の木林道へ入りスギ林の急坂を登り始めました。約1時間後、一汗かいたころ地蔵峠に到着、休憩をとりました。途中、台風の強風で折れた枝が多く落ちていたので、邪魔な枝を片付けながら登りました。ここで岩崎会長夫妻の靴下の中にヤマビルがいることが発覚しました。しかし、さすがに落ちていて処理されていました。

私は夏の森林教室でヤマビルの洗礼を受けていたので、今回は用心して「長靴」に「ヤマビルファイター付き軍足」と完全装着で参加していましたので足元は安心です。

さらにあまり高低の差のない三石歩道を三石山観音寺に向かって歩きます。尾根伝いの三石歩道ですが、樹木におおわれているせいかキノコの生育には良い環境らしく、タマゴタケ、テングタケ、シロオニタケ等多くのキノコを見かけました。日本ではちなみに毒キノコで年平均400名の中毒者、2名の死者が出るそうです。



タマゴタケは今夜の味噌汁に!?

イノシシが何かの食べ物を探して掘った跡やゴルフ場の開発跡なども見ながら、約1時間で三石山観音寺に到着しました。この先、シダやその他の生物の豊富な裏参道を草川原駐車場まで下る予定でしたが、閉鎖されて通れません。表参道は舗装されている車道なので村川・福岡さんの車に乗って解散場所の草川原駐車場までは車で送って頂きました。結果的に予定通り、12時50分に到着しました。

一般公開の事前研修として沢山の生き物を観察することが出来、春よりも僅かながら自信を持って案内出来そうで、とても有意義な経験となりました。

知れば知るほど自分の知識・経験が少ないことを自覚するあまり、果たして演習林のことを本当に自信を持って説明出来る日が来るのだろうかと不安にもなりましたが、これから色々な方たちでこうした研修に参加させて頂き、職員やボランティアの皆さんの知識・経験を更に吸収していきたいと思います。これからも宜しくお願い致します。

最後に、休日にもかかわらず終始サポート頂きました演習林職員の方々に特に感謝しつつ、今回の報告の筆を置きたいと思います。

10月度(第1回) ボランティア活動報告

～天津小学校・緑の教室 実習場 事前整備～

ボランティア 石川 輝雄

天津小学校の“緑の教室”が10月21日に行われますが、この行事の実習に使われる場所の

草刈りと歩道整備を10月7日に行いました。参加者は岩崎・西山・藤田（貴）・恵さんと石川の5名、それに職員の村川・永島・里見さんです。

今回の場所は清澄寺の横、一杯水林道のゲートをくぐったすぐ先の左側（毘沙門41林班C4小班）です。ここはもとスギ林であった所が雪害で崩れたかなりの急傾斜地で、スギの丸太を横に並べて杭に針金で固定し、ひな段状に土を固定してあります。周囲は鹿よけの網で囲われています。

昨年と同じ場所を使ってコナラのどんぐりを植えたとのことですが、鹿の食害もなく、ススキなどの草が1m位の高さまで一面に生い茂り、植えたコナラの苗はもちろん、土留めの丸太もほとんどかくれるような状態になっていました。

最下段に横に一定の間隔でならび、上に向かって手鎌で草を刈りはじめました。最初の4～5段目には5cmほどの高さに育ったコナラの苗があるので、草と一緒に刈り取らないように注意します。かなり急斜面で自分の体を支えるのが大変なことと、草が丸太の間から生えていたり、丸太を止めてある鉄の針金が邪魔をして思いのほか大変、鎌をかなりいためてしまいました。



丸太で土留めされた斜面での下刈作業

また、蜂の巣があってもおかしくないような感じのところですが幸い一つもありませんでした。しかし、あいかわらずヤマビルが活動していて、私も手の甲に吸い付かれてしまいました。

一汗かいた頃、最上段まで草刈が終了し、ちょうど昼食の時間となりました。作業をした場所が清澄宿舎近いので、現地で食べるのはやめて清澄宿舎に戻って食べました。

午後の作業は、昨年、コナラのどんぐりを植えた最下段の上、数段に今年も同じようにどんぐりを植える予定とのことですので、その場所の整備をしました。具体的には植える場所の草や石を取り除き、くわで土を掘り起こして、土をやわらかくします。この作業は場所が少ないこともあり、比較的簡単に済み、午後2時半頃には全部終了しました。なお、以上の作業のほかに職員の皆さんが、最下段におりる歩道の整備を平行しておこないました。

天気予報では午後から雨になるような予想で心配したのですが、雲が多いものの、雨が降ることもなく、無事終了しました。

この作業の過程の中で“緑の教室”の行事が10月21日と次回のボランティア活動の前の日ということがわかったので、これにもサポート役としての参加希望をした所、是非とのこと、急遽参加募集をすることとしました。

11月度(第1回)研修および活動のご案内

秋の研修会と生長測定

7日は千葉演習林職員の研修報告などが行われる「秋の研修会」を聴講します。8日は苗の生長測定を行います。7日または8日のみの日帰り参加もできますので、その旨ご連絡ください。

<u>日 時</u>	平成17年 11 月 7 日(月)~ 8 日(火)(宿泊)
<u>集 合</u>	清澄作業所 講義室 7日 13:00
<u>解 散</u>	同 8日 16:00頃
<u>内 容</u>	*11月7日 13:00~17:00頃 秋の研修会(清澄講義室) *11月8日 9:00~16:00頃まで 生長測定(郷田倉27林班C4小班)
<u>宿泊場所</u>	清澄学生宿舎(04-7094-1990)
<u>参加費</u>	宿泊の方は2,340円程度(7日夜の懇親会費を含む)、日帰り参加の方は不要
<u>人 数</u>	7日 定員なし、8日 9名程度(原則として先着順)
<u>持 ち 物</u>	筆記用具、飲み物、野外活動ができる服装、靴(登山靴などしっかりしたものか長靴、地下足袋のいずれか)、軍手、タオル、雨具、リュック、敷物、保険証、常備薬、会員証、宿泊用の道具など
<u>雨 天 時</u>	状況により対応
<u>受付期間</u>	10月24日(月)~10月31日(月)
<u>申込方法</u>	電話、FAX、E-mailのいずれか

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局

〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川 輝雄

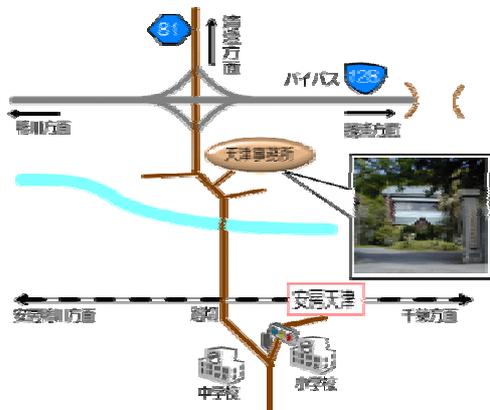
(参加には年度ごとの会員登録が必要になります。)

11月度(第2回)秋の一般公開サポートのご案内

秋の一般公開には、毎年数多くの方が紅葉に囲まれた渓谷沿いの自然を楽しみに来られます。今年から概要やハンドブックを販売するために特に人手が必要になりそうです。皆様のサポートをお願いします。

日 時 平成17年 **11**月**23**日(祝)、**26**日(土)、**27**日(日)、
12月**3**日(土)、**4**日(日) (各日帰り)

集 合 天津事務所 7:10 清澄作業所 7:30
 君津市折木沢地先黒滝ゲート手前の加勢林道入口 8:30
 のいずれか 遅刻しないようにお越しください。



*加勢林道入口の地図が欲しい方は事務局へ連絡下さい。

解 散 黒滝ゲート 16:30 頃、清澄作業所 17:00 頃、天津事務所 17:20 頃

内 容 ・受付(チラシの配布、入林者のカウント) ・マナー指導
 ・ゴミ拾い ・概要とガイドブックの販売など……

人 数 1日あたり6名程度 希望者が多い日はこちらで調整します。

持 ち 物 防寒具(とても寒いです)、カイロ、昼食、飲み物、傘、会員証など

雨 天 時 雨天の場合は入林者が少なくなりますので、職員のみ対応となります。天気予報により、ボランティア活動が中止の場合は前日の午後8時までに参加予定者に連絡をします。(荒天でない限り公開はします。)

受付期間 11月1日(火)~11月16日(水)

申込方法 電話、FAX、E-mail のいずれかでお申込下さい。
 その際、希望日(複数日あれば第一希望から順に)・集合場所をお知らせ下さい。

申込、お問い合わせ先

千葉演習林ボランティア会 Abies 事務局

〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川 輝雄

(参加には年度ごとの会員登録が必要になります。)

=====
 千葉演習林ボランティア会 Abies通信 No.4 2005/ 10/ 20 発行

* 事務局 〒264-0032 千葉県千葉市若葉区みつわ台 3-1-2-102 石川輝雄

* 東京大学千葉演習林 〒299-5503 千葉県鴨川市天津 770 TEL:04-7094-0621

FAX:04-7094-2321 E-Mail:chiba@uf.a.u-tokyo.ac.jp